

ニュースレター限定 社長コラム

『炊飯器の性能 vs. お米素材の良さ』

代表取締役 近藤 千奈美

3月は来期の計画を幹部社員と一緒に作成する時期になっています。

会議室に2日間、缶詰めになってこの作業に集中するのですが、ランチタイムは仕事の話をしながらも面白い話題で花が咲きます。今回は、炊飯器の性能 vs. お米素材の良さ。先日テレビ番組でそのような比較があったとのこと。

炊飯器の性能の低いものと高いものの2台を用意。性能の低い炊飯器には品質が高いお米、性能の高い炊飯器には品質が普通のお米を炊飯したところで炊飯したお米のおいしさを競うという内容。軍配はどちらに？

その番組では、性能が低めの炊飯器で炊いた高品質のお米の方が断然おいしかった、という結果だったそう。

お米の素材の良し悪しは炊飯器の性能では補えない、つまり素材の良し悪しは技術では補えない、と番組では伝えたかったのかなと感じます。

一方で、「おいしさ」は感性の領域。お米の味はもとより、風味や食感など、人それぞれに「おいしさ」の受け止め方は幅があるものだと思います。

技術 vs. 素材の対決は、一元的な物差しでは測れない奥深さを感じました。

また、人間はさまざまな技術を知恵と工夫で生み出し、今日まで生き延びてきた生物。かなり劣悪(?)な素材をも、美食に変えてきた歴史でもあると思うのです。

技術か素材かではなく、技術と素材の調和が楽しい、おいしいをもたらすと思いました。

花より団子の季節ですね！



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

株式会社コンテックス



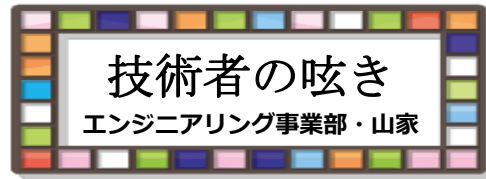
Phone : 042-744-1080

e-mail : tsd@kontecs.com

URL : <https://www.kontecs.com>



『Do It Yourself』



自分の不注意で、コンビニの駐車場にある電柱ガードパイプに割とディープなキス。

近くに腕のいい板金屋がないので、ディーラーで見積もりをしたらドア交換で10数万円。保険を使ってもいいのだが2週間ほど預けなければならない。ならば古い車だし自分で直そうと。引っ張って、押し出して、叩いて削ってパテ盛って…

パテ盛り&研磨は気に入らないので繰り返すこと数回、塗装して艶出しして完了。

材料費約1万円。丸5日掛かりました。

お金に余裕のある方はお近くのディーラーへ



社員の呟き

GB事業部・岡城

『頭隠して尻隠さず』



岡城家では二月の頭にこたつを出しました。(遅すぎますね(笑))

こたつを出すと誰も出てこなくなるので出すのを迷っていたのですが結局出してしまいました！こんな時期に！！

去年迎えた新しい家族のボアちゃんはこたつの住人です。

彼はお尻が入っていないことには気づいてないようです。

朝起きてこたつをつけると一番に入っていきます。

夜寝るときもベッドへお誘いしますがこたつから出てきません。

11Kgをこたつから出すのは結構な重労働です(笑)



ニュースレター限定 営業マンのコラム

『【号外の続報！】優しい炎・・・』

グローバルビジネス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



先月ご報告させていただいた通り、銀色のチャカを持ち歩き、ターボな炎で着火している私ですが、ターボの炎を使っているうちに逆の炎に惹かれるようになりました。

どんな強風の中でも着火できるガスターボは野外で大活躍します。一方、自宅での着火にはマッチを使うようになってきました。マッチの炎は優しいです。着火の後に少し間を置き、軸が燃える火で着火すると最初の一口が自然な味わいになる(ような気がする)のです。

マッチをこする部分の呼び名をご存じでしょうか？私は先ほど知りましたが、「側薬」と呼ばれるそうです。マッチの頭が「頭薬」ですって。頭薬には松脂と塩素酸カリウムが含まれており、側薬のリンと反応して火が付くと・・・そういえば、昔、頭薬に水を付けて、側薬のところで溶かして乾かすと、靴のかかとや地面などでシュッと着火できたことを思い出しました。混ぜてあればそれぞれの成分が反応して摩擦で火が付くんですねえ。思いがけず化学の勉強ができました。

昭和は遠くなりにつれ。今はマッチの正しい擦り方なんて教えていないんですよえ。



教えて！

翻訳 Q&A



Q: 草花が芽吹く季節がやってきました。春に咲く花を英語で言えるようになりたいです

**A. 様々な花の名前を英語で言えるとおしゃれでカッコいい印象を与られますね。
今回は春に目にする花をいくつか豆知識とともに紹介していきましょう。**

ツツジ ----- **"azalea"** 様々な種類があり、日本ではピンク、赤、紫の花色のものをよく見ます。花言葉（flower language または flower symbolism）は国によって様々ですが、日本では節度・慎み（temperance）といった控えめさを表すものが代表的です。

スズラン ---- **"lily of the valley"** 直訳すると「谷間のユリ」となります。白く可憐な姿から西洋では"return of happiness（再び幸せが訪れる）"、"purity（純粋）"、"humility（謙遜）"といった花言葉が用いられています。

ワスレナグサ **"forget-me-not"** これを直訳したものが日本名になったと言われています。小さなかわいい花を無数に咲かせるこの花には"true love（真実の愛）"、"remembrance（記憶・追憶）"などの花言葉があります。

ハナミズキ -- **"dogwood"** 犬の皮膚の治療にハナミズキの樹皮を煮て出来た汁を使ったことからこの名前がついたとも言われています。"Love undiminished by adversity（逆境に耐える愛）"、"durability（永続性）"を表し、アメリカでは春を象徴する花となっています。

そして春といえばやはり桜ですね。以下のような文章で紹介してみてもいいかもしれません。

Cherry blossom buds begin to swell around mid-March, reach full bloom in early April, and start scattering in about two weeks.



HP にバックナンバーが掲載
されています♪